

環境影響評価集計表 環境影響に関する授業一覧

分類：(1) 自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業

(調査実施年度：2019年度 対象年度：2018年度)

(2) 環境側面（環境に影響を与える要因）を個別具体的に対象とする授業

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要（60字程度）
人文学部	1	環境エネルギー政策論	(2)	1	共通教育科目	茅野恒秀	世界および日本で進められているエネルギー戦略シフトの動向をふまえ、国際レベル、国全体、そして地方のレベルにおける環境エネルギー政策について学習する。
	2	社会調査実習 I	(1)	3	人文学部人文学科	茅野恒秀	長野県上伊那地域において、地域資源利用システムの成立に関する歴史的経過と、担い手と自然環境との相互作用に関する社会調査を実施。
理学部	1	新入生ゼミナール	(2)	1	理学部・化学科	オムニバス	グリーンサイエンスの内容を担当し、化学物質による環境汚染を防止し、人体や生態系への影響を最小限に抑えることを目指した化学についての講義を行った。
	2	分析化学実験	(1)	2	化学科	巽広輔・高橋史樹・金継業	実験で出る廃液の環境への影響について説明し、その適切な処理方法について指導した。
	3	分析化学演習 II	(1)	3	化学科	巽広輔	環境への負荷が高い化合物（ヒ素等）の分析法に関する論文を取り上げ、内容を解説した。
	4	計測化学特論		修士1年		高橋 史樹	諏訪湖の採水を通じて環境への理解を深める。
	5	物理化学 I I	(1)	2	理学部化学コース	飯山 拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
	6	物理化学III	(1)	3	理学部化学コース	飯山 拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
	7	物理化学実験	(1)	3	理学科・化学コース	浜崎亜富、二村竜祐、飯山拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	8	物理化学 I	(1)	2	理学科・化学コース	浜崎 亜富	量子化学・光合成反応を絡めた環境についての講義
	9	地球史学	(1)	2	地球学コース	吉田孝紀	地球環境の変遷を教える

全学教育機構	1	山国信州の風土とくらし	(1)	1	共通教育	小山茂喜	長野県の風土に合わせた人々の暮らしに焦点を当て、環境と暮らしとの関係を探求する視点を育む内容を展開した。
	2	日本の屋根信州の風土とくらし	(1)	1	共通教育	小山茂喜	長野県の風土に合わせた人々の暮らしに焦点を当て、環境と暮らしとの関係を探求する視点を育む内容を展開した。
	3	ネイチャーライティングのすすめ(環境文学Ⅰ)	(1)	全	全学, 高等教育コンソーシアム信州 遠隔配信	松岡 幸司	「ネイチャーライティング」を含む「環境文学」という文学ジャンルの視点、および作品を紹介し、そこに現れる自然・環境意識を「心でとらえる」学びを通して、「環境マインド」の育成を促進した。
	4	環境文学のすすめ(環境文学Ⅱ)	(1)	全	全学, 高等教育コンソーシアム信州 遠隔配信	松岡 幸司	「環境文学」という文学ジャンルの視点、および作品を紹介し、そこに現れる自然・環境意識を「心でとらえる」学びを通して、「環境マインド」の育成を促進した。
	5	ドイツ環境ゼミ	(1)	主に1年次	全	松岡 幸司	「グローバルな視点で環境問題にアプローチできる姿勢と能力」を身につけるために、3週間のドイツ研修(語学研修+環境視察)を行い、その成果をレポートにまとめ、公開報告会にて発表する。
	6	自然環境行政入門ゼミ	(1)	1	共通教育科目	加藤麻理子	自然環境の保全に関わる国立公園行政や希少種保全などの概要を解説する授業
	7	環境と生活とのかかわり	(1)	1	共通教育科目	加藤麻理子	地球温暖化やプラスチックゴミ問題などを含む環境面の様々な話題を扱い解説する授業
	8	環境社会学入門	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	本講では、環境社会学の理論的思考や実践的研究方法を学んだ上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができることを目標とします。
	9	熱帯雨林と社会	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	熱帯産の食料や資源などを事例に、それらの大量移動に伴う影の問題や現地社会と私たちが抱える現代的課題について考えます。
	10	生態資源論ゼミ	(2)	1	全学教育機構	金沢謙太郎	生態資源とは、人とともに存在し生きてきた資源を指します。県内の生態資源を事例とし、それらの利用の歴史と現状、展望を探ります。
	11	環境マインドを現場で体験するゼミ(熱帯雨林)	(2)	全	全学教育機構	金沢謙太郎	国際協力の分野で実践されているParticipatory Rural Appraisal (PRA)をマレーシア、サラワク州の農山村の現場で演習します。
	12	環境マインドを現場で体験するゼミ	(2)	1	全学教育機構	大塚勉・池田敏彦・金沢謙太郎	水生生物による環境調査、NPOの環境保全活動などの見学実習を通じて、信州の地域環境への理解を深め、社会貢献のあり方を議論します。

全学教育機構	13	地球白書ゼミ	(2)	全	全学教育機構	金沢謙太郎	地球が直面している問題群を比較的平易な英文とそこに挿入されている図表から理解していきます。
	14	環境社会学概論	(2)	3	経法学部	金沢謙太郎	本講では、環境問題、環境文化、環境行動の3つの領域における問題群から、具体的な事例に基づいて考えていきます。
	15	日本国憲法	(1)	全	全学教育機構	小池洋平	日本国憲法を素材として、法律環境および政治環境について概説した。
	16	現代社会における人権	(1)	全	全学教育機構	小池洋平	現代社会における人権問題を素材として、法律環境と政治環境で生じている問題を人権の視点からいかに解決すべきかを解説した。
	17	現代社会における統治機構	(1)	全	全学教育機構	小池洋平	現代社会における統治に関わる憲法問題を素材として、政治環境で生じている問題を法的にいかに解決すべきかを解説した。
	18	トレッキング1	(1)	1	全学	廣野・加藤	「信州の自然体感」をテーマに、自己の身体を再確認し、運動の重要性の認識と生涯学習への導入を図るとともに、信州の自然環境を体感することにより環境問題についての理解を深める授業。
	19	農山村と環境（第2,3回）	(1)	1	共通教育	内川 (分担で2,3回を林が担当)	農山村・中山間地の持つ自然資源や生物資源等の保全と活用について、多様な専門分野の教員がオムニバス形式で話題提供を行う
	20	エコ水車と地域バイオマス活用（6-10回フィールドワーク）	(1)	1	共通教育	池田・天野・林	信州の自然資源を活用した小水力・ナノ水力発電や木材等を中心とした生物由来資源を活用したエネルギー利用についてフィールドワーク等も交えながら学ぶ
	21	系統分類学	(1)	1	生物科学科	東城幸治	地球上に生命が誕生してからの約40億年間、生物はどのように進化・多様化してきたのか？そのプロセスを理解するとともに系統進化プロセスを反映させた分類体系を理解する。
	22	進化多様性生物学	(1)	2	生物科学科	市野隆雄	人間の性質はどこまで遺伝子によって決まっているのか、また地球上に人類が出現して以来、人間はどれほど生物種の絶滅や生態系の攪乱を引き起こしてきたか。これらの点について科学的に広く理解することが第一のねらいである。
	23	物理化学II	(1)	2	理学科化学コース	飯山	熱力学を教える中で、エネルギー保存則について扱った。
	24	物理化学III	(1)	3	理学科化学コース	飯山	熱力学を教える中で、熱から仕事への変換効率について扱った。
部内局	1	健康科学・理論と実践	(1)	1	全員	金子講師ほか	大学教育における基礎的な能力として、大学生活を健全に送り、かつ生涯にわたって健康を維持増進するための健康科学の知識と実践方法の習得を目的とする。